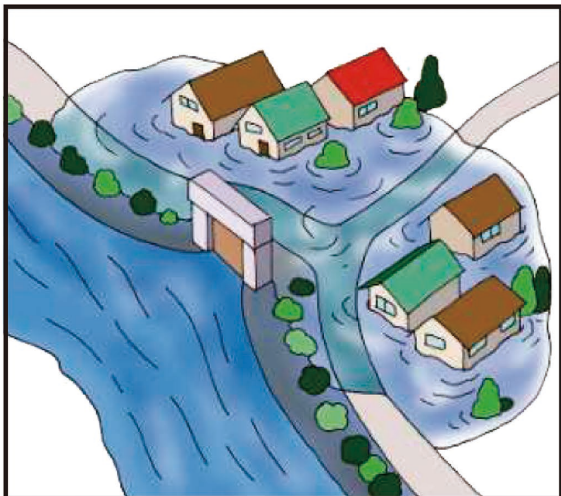



●内水はん濫と外水はん濫

	内水はん濫	外水はん濫
はん濫の発生イメージ		
発生のしかたが違います	<p>猛烈な豪雨が降ると、側溝や下水道の排水能力が追い付かなかつたり、河川の水位が上昇して排水できないことがあります。</p> <p>このように、地域に降った雨を排水できずにその地域で水があふれた状態のことを「内水はん濫」といいます。</p>	<p>大雨によって河川水位が高くなると、堤防を越えて水があふれたり(越水)、堤防が壊れたり(決壊、破堤)することがあります。</p> <p>このようなことが原因で生じるはん濫のことを「外水はん濫」といいます。</p>
浸水エリアが違います	<p>降った雨の規模によって、地盤の低い場所や川沿いなど、市内のいたるところで内水はん濫による浸水が生じる可能性があります。</p>	<p>どの河川のはん濫かによって浸水エリアが異なりますが、川に近く低い土地ほど浸水が生じやすく、浸水深が深くなります。</p>
危険度が違います	<p>一般に外水はん濫に比べて流速は速くありませんが、局所的な低地や急勾配な場所などでは流速が速くなる恐れがあり、浸水深が浅くても危険な場合があります。</p>	<p>越水や決壊・破堤によるはん濫水は、家屋でさえ破壊するほどのエネルギーで一気に押し寄せてくるため、一般に流速が速くなります。とりわけ河川に近い場所では注意が必要です。</p>
内水はん濫と外水はん濫の関係	<p>上記のように、内水はん濫と外水はん濫は、発生のしかたや浸水エリアなどに違いがありますが、どちらのはん濫も大雨によって発生します。</p> <p>そのため、どちらかが発生したらもう片方は発生しないということではなく、どちらかが発生したらもう片方も発生直前であるといえます。</p>	

★【小山市洪水ハザードマップ】について

小山市洪水ハザードマップは、想定される最大規模の大雨により河川の堤防が決壊し、水が流れ出した場合に想定される浸水の範囲や、避難先などを示しています。この浸水想定結果は、状況によって区域が広がったり、浸水深が深くなることが考えられます。

洪水時に、市民のみなさんが、避難する際に役立てていただき、逃げ遅れゼロを目指して作成したものです。普段より手元に置いて、役立ててください。

小山市治水対策課 0285-22-9204